

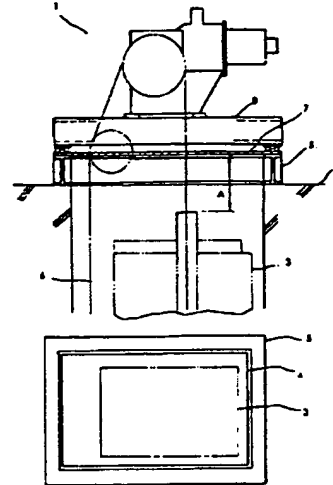
JP 405319744 A
DEC 1993

(54) ELEVATOR DEVICE

(11) 5-319744 (A) (43) 3.12.1993 (19) JP
(21) Appl. No. 4-125786 (22) 19.5.1992
(71) HITACHI LTD(1) (72) TATSUMI KONNAI(1)
(51) Int. Cl. B66B11/04

PURPOSE: To simplify building work, and to reduce building cost by providing the machine room floor partitioning off the elevator shaft from the machine room with an opening whose area is larger than the projected area of an elevator cage, and installing a frame body around the periphery thereof, and also by providing a partition plate for partitioning off the elevator shaft from the machine room in the upper part of this frame body.

CONSTITUTION: In a machine room 1, the machine room floor 2 is provided with an opening 4 whose area is larger than the projected area of an elevator cage 3, and a frame body 5 is installed around the periphery of the opening 4. The frame body 5 is fitted with reinforcements at proper places to prevent deformation against the load applied thereto. In the upper part of the frame body 5, a partition plate 7 for partitioning off the elevator shaft 6 from the machine room 1 is provided, and the distance from the top of the elevator up to the undersurface of this partition plate 7 is made a top clearance A. Since the machine room floor 2 is provided with the opening 4, by this partition plate 7, a person or articles can be prevented from falling into the elevator shaft 6. Since the frame body 5 is supported by the wall rising along the elevator shaft 6 up to the machine room 1, building-receiving beams can be dispensed with. The height of the frame body is determined so as to secure the dimension of the top clearance A.



THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-319744

(43) 公開日 平成5年(1993)12月3日

(51) Int.Cl.⁵

B 6 6 B 11/04

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 9243-3F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-125786

(22) 出願日 平成4年(1992)5月19日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71) 出願人 000232944

日立エレベータエンジニアリング株式会社

茨城県勝田市堀口832番地の2

(72) 発明者 近内 辰美

茨城県勝田市堀口832番地の2 日立エレ

ベータエンジニアリング株式会社内

(72) 発明者 中平等 明

茨城県勝田市堀口832番地の2 日立エレ

ベータエンジニアリング株式会社内

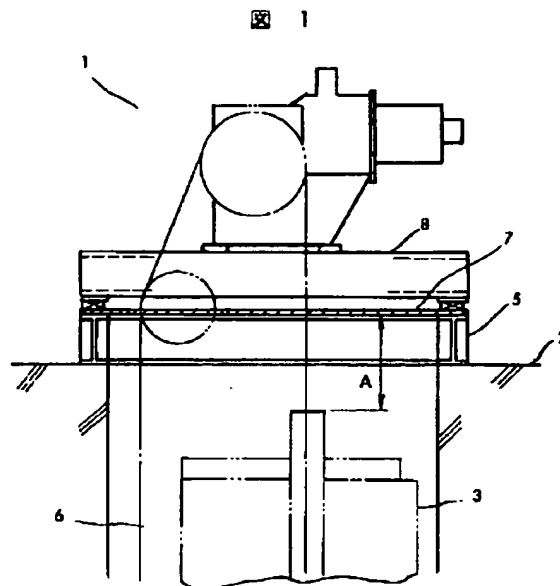
(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

(54) 【発明の名称】 エレベータ装置

(57) 【要約】

【構成】 機械室床 2 にかご投影面積より大きい開口部 4 を設け、その開口部 4 の周縁に枠体 5 を設け、この枠体 5 の上部に昇降路 6 と機械室 1 を遮蔽するしきり板 7 を設ける。

【効果】 機械室設置における、建築施工の簡略化及び、建築費の低減を図る事ができる。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】昇降路の頂部に機械室を備えたエレベータ装置において、機械室床にかご投影面積より大きい開口部を設け、その開口部の周縁に枠体を設置し、この枠体の上部に昇降路と機械室とを遮蔽するしきり板を設けた事を特徴とするエレベータ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はエレベータ装置に係り、特に、機械室を改善したエレベータ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の機械室構成は、例えば、特開昭50-150149号公報に記載の様に構成されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来技術はエレベータの仕様、速度等によって定められるトップクリアランスに関して考慮されていない。このトップクリアランスを確保する事により、昇降路は建物の屋上から突出してしまう。機械室はこの昇降路の直上に位置するので、建物の屋上より高い位置に設置される。すなわち、機械室は建物の屋上をかさ上げして設置される事になるので、建築施工を複雑にする欠点がある。また、機械室は建物の屋上より高い位置に設置されているので、建物から機械室へ行くため建築施工による階段が必要となる欠点がある。

【0004】本発明の目的は、建築施工の簡略化と、建築費の低減を可能としたエレベータ装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するために、昇降路と機械室を遮蔽する機械室床に、かご投影面積より大きい開口部を設け、その周縁に枠体を設置し、この枠体の上部に昇降路と機械室を遮蔽するしきり板を設けた。

【0006】

【作用】昇降路と機械室を遮蔽する機械室床に、かご投影面積より大きい開口部を設け、エレベータの据付工事等における機械室設置品の搬出、搬入を昇降路を利用して行う事ができる。

【0007】機械室床に設けた開口部の周縁に枠体を設置する事により、建屋受梁の位置に関係なく、機械台、巻上機を設置する事ができる。

【0008】枠体の上部に昇降路と機械室を遮蔽するしきり板を設けた事により、しきり板下部までをトップクリアランスとして確保する事ができる。

【0009】

【実施例】本発明の一実施例を図1、図2により説明する。図1は本発明を説明した側面図、図2は平面図である。

【0010】機械室1において、機械室床2にかご3の投影面積より大きい開口部4を設け、その開口部4の周縁に枠体5を設置する。枠体5は適宜位置に補強材（図示しない）を取付け、これに掛る荷重に対して変形の生じないものとする。枠体5の上部に昇降路6と機械室1を遮蔽するしきり板7を設け、このしきり板7の下部までをトップクリアランスAとする。機械室床2には開口部4が設けられているので、このしきり板7により、人または物が昇降路6へ落下しない様にする。

【0011】枠体5は昇降路6から機械室1に至る立上り壁に掛るので、建屋受梁を必要としない。

【0012】枠体の高さは、エレベータの仕様、速度等によって定められるトップクリアランスAの寸法を確保できる様にして決める。

【0013】本発明の一実施例では枠体5は一段の場合を示したが、トップクリアランスAの寸法により複雑段に取付ける事ができる。

【0014】また、しきり板7の取付けは枠体5の上部としたが、機械台8の下部とする事もできる。

【0015】

【発明の効果】本発明によれば、建築施工による昇降路と機械室を遮蔽する機械室床や、建屋の受梁を必要としないので、建築費の低減を図る事ができる。

【0016】また、枠体の高さを高くしたり、枠体の積重ね等によりトップクリアランスを確保できるので、建物の屋上をかさ上げせずに機械室を設置する事ができ、機械室の構造を容易にする事ができる。また、建物から機械室へ至る階段を必要としないので、建築施工の簡略化を図る事ができる。更には、建物の屋上のかさ上げを必要としないので、建物全体の高さを低く押える事ができる。

【0017】また、エレベータの高速度化等の改造工事を行う場合にも、枠体の高さや、枠体の積重ね等によりトップクリアランスを確保できるので、既設建物の改造をする事なく対応できる。

【図面の簡単な説明】

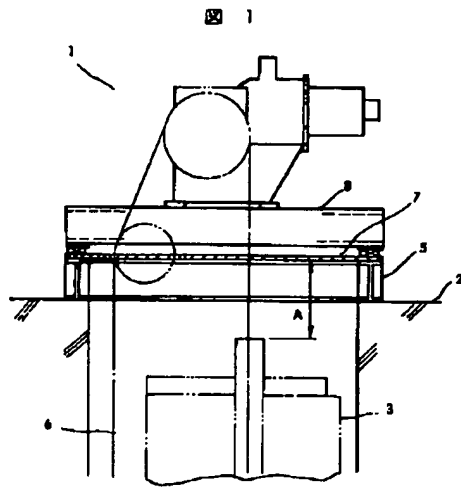
【図1】本発明の一実施例の側面図。

【図2】図1の平面図。

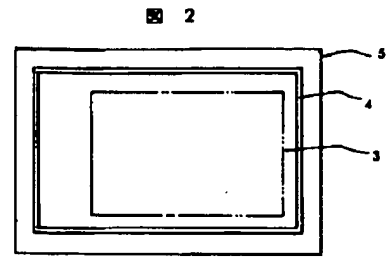
【符号の説明】

1…機械室、2…機械室床、3…かご、4…開口部、5…枠体、6…昇降路、7…しきり板、8…機械台。

【図1】



【図2】



THIS PAGE BLANK (USPTO)